

検討の観点	内容の特色
<p>1. 内容</p>	<p>テーマ・ねらいが明確で、着実に学習を進められるスリーステップの単元構成である。</p> <p>基礎から活用、課題探求へと、学習活動の流れにそって発展的に単元を構成している。</p> <p>身につける力ごとに教材・活動を設定しており、着実に学習を進めることができる。</p> <p>言語文化を総合的に学べる、選び抜かれた作品群である。</p> <p>文学作品が身近なものとして認識できるような作品が選択されている。</p> <p>さらなる学びに向けた「広がる読書」や、自ら課題を選ぶ「選択総合単元」もある。</p> <p>丁寧な手順・事例解説、豊富な資料や図版・写真である。</p> <p>読後の課題「羅針盤」では、丁寧な手順・事例解説で主体的な学習活動をサポートしている。</p> <p>各種コラムや図版・写真、資料編も含め、豊富な参考資料を掲載している。</p> <p>①明解な目標設定により、「学びに向かう力」を育成することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書全体が基礎的能力、活用能力、課題探究という三つの目標に分けて構成され、系統的・段階的な学習の積み上げができるよう構成されている。 ・単元扉や教材冒頭にはどのような力を学ぶかを明示されており、目的意識をもって学習に取り組むことができるよう工夫されている。 ・基礎的能力の習得を目指す第1～5単元は、学習活動や共同学習・探究課題を通して、作品に即して着実に読む基礎的な技法を身につけることができるよう構成されている。 ・活用能力の育成を目指す第6～9単元では、古典の現代語訳や戯曲、映画化された作品に関連した文章などを読むことを通して、日本の言語文化としての文学作品の魅力を知り、その広がりを目を向けることができるよう構成されている。 ・課題探究を目指す第10～12単元は、古典文学や翻訳文学、評論などを読むことを通して、自ら課題を設定し、探究していくことができるよう構成されている。 ・書くことについては、多様な創作を短い時間で効果的に行う活動と、自ら課題を設定し小論文を書く活動の二種類が設定され、文学に対して主体的・創造的に向き合い、書く力を育成することができるよう工夫されている。 <p>②豊富なジャンルの作品により、文学に対する探究心を育成することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の古典作品の翻案や海外作品の翻訳、文学作品の書評に加え、インタビューや映画・戯曲に関連した文章や歌詞、漫画など、多様な教材が採録されている。生徒にとって文学が身近なものとなり、自ら探究へ向かう姿勢を育成することができるよう工夫されている。 <p>③教材の内容を多面的に捉え、主体的に考える力を育成することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各単元の「羅針盤」では、教材の読み取りから探究までの学習を丁寧に導いており、生徒が主体的に考えを深めることができるよう構成されている。 ・「探究」として、比べ読みや重ね読みができる作品が掲載されており、単に教材を読むだけでなく、読んだ教材を相対化し、思考を深めていくことができるよう工夫されている。 ・各単元末に「読書案内」、資料編には「探究のためのブックガイド」を置き、教材をきっかけとして生涯にわたって文学作品に親しみ、読書を続けていく姿勢を育成することができるよう工夫されている。 ・各単元末には「読書案内」、資料編には「物語・小説読み解きツール」や「小さな図書館よろこそ」「探究のためのブックガイド」が配置されており、各教材で学習した内容をもとに他の作品を読んだり、さらに探究を深めたりすることができるよう工夫されている。

『新 文学国語』（15 三省堂 文国 703）—検討の観点と内容の特色

検討の観点	内容の特色
2. 構成・分量	<ul style="list-style-type: none"> ●各々のテーマ・ねらいや身につける力を明確にした、全 12 単元の構成である。 ●単元ごとにテーマに合わせた文章を配置し、総合的なカリキュラムをスムーズに組み立てられるよう構成されている。 ●各所に「探究」「参考」等の教材に関連した文章が配置されており、作品の探究につながる課題が設定されている。 ●各単元末に「コラム」や「表現の扉をひらく」が配置され、文学に対する興味・関心を喚起できるよう工夫されている。
3. 表記・表現、及び指導上の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●挿絵や図版を適所に配置されており、生徒の学習意欲を喚起し、内容の理解を支えるものとなっている。 ●用語・記号は統一されており、生徒が理解しやすい記述になっている。 ●脚注は分量・内容とも適切である。また、平易な表現で記述されており、生徒の理解を助けるものとなっている。 ●資料編の「物語・小説読み解きツール」などは、文字による解説に加え、わかりやすい図解を用いることで内容を視覚的に捉えられるように工夫されている。 ●授業を支援する教師用指導書や教材、ICT ツールなどが充実している。教科書には学習をサポートする二次元コードがある。指導しやすく学習しやすい教科書である。
4. ユニバーサルデザイン	<ul style="list-style-type: none"> ●特別支援教育ならびにカラーユニバーサルデザイン（CUD）の専門家の知見を参考に、ユニバーサルデザイン（UD）に配慮し、誰もが使いやすい教科書となるよう工夫している。 ●CUD への対応として、色覚の特性を考慮し、誰にでも見やすく、学びやすい配色になっている。識別しにくい配色は避け、色だけの違いに頼らず、形の違いや、記号・番号・説明文などの補助的な手がかりを設け、色の濃淡や罫線の使い分けなどで違いが明確になるように配慮している。 ●教材で使用している文字に UD フォントを使用し、読み誤りなどが生じにくいように配慮している。
5. 印刷・造本などの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ●活字・写真・挿絵は鮮明で、かつレイアウトも工夫されており、学習に取り組みやすい教科書となっている。 ●教科書用紙は、環境の保護や資源の節約のため、原料や製法に配慮した環境にやさしい紙を使用している。 ●印刷に使用しているインキは、植物由来の油および、それらを主体とする廃食用油等をリサイクルした再生油を含んだ、印刷インキ工業連合会認定の植物油のものを使用している。 ●製本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。また、ページの開きがよく、読みやすい製本方式を用いている。

【総合所見】

生徒の学びに向かう力を引き出す明解かつ多様な教材が採録されており、学習過程や学習内容が明確で、言語活動の充実などが図られ、質的ならびに量的にも適切である。生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能の習得と、それらを活用して、思考力・判断力・表現力等の育成に資する工夫が随所に施され、主体的・対話的で深い学びができる。この教科書は、科目「文学国語」の目標である、言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することに適した教科書である。